

新潟県立長岡高等学校のみなさんに模擬講義を行いました (2022/10/6)

テーマ：東日本大震災，7.13 水害，2004 年新潟県中越地震
会場：東北大学サイエンスキャンパスホール

10月6日(木)，新潟県立長岡高等学校（新潟県長岡市）普通科理系2年生134名が「東北大学工学部訪問」として本学を訪れました。来訪人数が多いことから，会場をAグループとBグループの2つに分けて，同時並行で大学案内や模擬講義が行われました。Bグループ（79名）を担当した佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）は，兼務している工学部建築・社会環境工学科の立場から「大学で災害を科学する」という題目で模擬講義を行いました。佐藤翔輔准教授は，同校がある長岡市に住んでいたことがあり，2004年に発生した7.13水害と新潟県中越地震での体験，工学分野との関連，自身の体験や学びを紹介したうえで，自身がこれまで取り組んできた研究内容だけでなく，災害科学国際研究所で行われている研究の概要を紹介しました。模擬講義では，来訪した生徒さんとインタラクティブに進めることで，笑顔で楽しく参加いただきました。参加した生徒さんからは，模擬講義後に「他の災害，被災地では？」「Build Back Betterとは？」「今の専門性はどのように生まれた？」など，沢山の質問をいただきました。同校訪問の前半では，工学部入試広報企画室室長の中村肇准教授（工学研究科，創造工学センター）より，東北大学と工学部について，概要・内容だけでなく，その魅力をご紹介いただきました。



会場の様子（写真は，中村准教授による大学紹介）

文責：佐藤翔輔（防災社会推進分野）